

# 2025年度出力制御見通しについて

2025年9月24日

九州電力送配電(株)

## [シミュレーションの前提条件]

- 需要（実績）は、2023年度データを使用  
※至近実績を踏まえた2025供給計画値に基づき、約1.8%増とする。
- 太陽光（実績）は、2022年度データを使用  
※2023年度は快晴日が例年より多いことから、2022年度の太陽光実績値をベースとする。
- 風力（実績）は、2023年度データを使用
- 太陽光・風力設備量は、2025年3月末設備量に至近の伸びを考慮
- 供給力は、最新の補修計画を織込み
- 調整火力は、需給運用において必要最小限を織込み
- 域外送電は、関門連系線利用率を80%※で想定  
※至近実績をふまえ利用率の低下リスクを考慮した値

# 1. 2025年度の九州本土の再エネ出力制御見通し

■ 前頁記載の前提条件および足元の実績を反映した結果、2025年度九州本土における再エネ（太陽光・風力）の総発電量に占める**出力制御率は5.9%程度となる見通し**。

## 〈2025年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）【太陽光・風力それぞれの出力制御率】※1					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償ルール	制御対象設備計	全設備
	オフライン	オンライン				
2025年度見込み	<b>10.0%※2</b> (4.1億kWh) 〔太陽光：11.4%〕 〔風力：3.4%〕	<b>6.7%</b> (3.1億kWh) 〔太陽光：6.8%〕 〔風力：2.8%〕	<b>2.7%</b> (0.0億kWh) 〔太陽光：－〕 〔風力：2.8%〕	<b>8.8%</b> (4.2億kWh) 〔太陽光：8.8%〕 〔風力：2.8%〕	<b>8.3%※2</b> (11.4億kWh) 〔太陽光：8.6%〕 〔風力：3.2%〕	<b>5.9%※3</b> (10.0億kWh) 〔太陽光：6.1%〕 〔風力：3.1%〕
(参考) 2025年度I/A全体オンライン化	<b>7.2%</b> (6.4億kWh) 〔太陽光：7.6%〕 〔風力：2.8%〕		<b>2.7%</b> (0.0億kWh) 〔太陽光：－〕 〔風力：2.8%〕	<b>7.5%</b> (3.6億kWh) 〔太陽光：7.6%〕 〔風力：2.8%〕	<b>7.2%</b> (10.0億kWh) 〔太陽光：7.6%〕 〔風力：2.8%〕	<b>5.9%</b> (10.0億kWh) 〔太陽光：6.1%〕 〔風力：2.8%〕

※1 各区分の出力制御量／各区分の総発電量(出力制御量含み)にて算出。全設備は10kW未満の出力制御対象外設備を含む総発電量（出力制御量含み）に対する出力制御量の割合を示す。  
 ※2 オンライン代理制御分の出力制御率（制御電力量）は、オフライン相当（8～9時間）の制御時間に換算した値で算出。  
 ※3 実際の制御時間で評価した値。

## 〈2025年度出力制御見通し（全設備）の内訳〉

	実績	見通し	
	4～7月	8～3月	年度合計
全設備	<b>8.8%</b> (5.7億kWh) 〔太陽光：9.0%〕 〔風力：5.5%〕	<b>4.1%</b> (4.3億kWh) 〔太陽光：4.3%〕 〔風力：1.7%〕	<b>5.9%</b> (10.0億kWh) 〔太陽光：6.1%〕 〔風力：2.7%〕

## <2025年度出力制御見通し>

第1回次世代電力系統WG (2025年1月23日) 参考資料1-8より抜粋

	出力制御率 (制御電力量) [太陽光・風力それぞれの出力制御率] ※1					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備
	オフライン	オンライン				
2025年度 見込み	<b>10.2%※2</b> <b>(4.3億kWh)</b> 〔太陽光: 11.7%〕 〔風 力: 3.9%〕	<b>6.9%</b> <b>(3.2億kWh)</b> 〔太陽光: 7.0%〕 〔風 力: 3.2%〕	<b>3.2%</b> <b>(0.0億kWh)</b> 〔太陽光: -〕 〔風 力: 3.2%〕	<b>8.9%</b> <b>(4.3億kWh)</b> 〔太陽光: 8.9%〕 〔風 力: 3.2%〕	<b>8.5%※2</b> <b>(11.9億kWh)</b> 〔太陽光: 8.8%〕 〔風 力: 3.7%〕	<b>6.1%※3</b> <b>(10.4億kWh)</b> 〔太陽光: 6.2%〕 〔風 力: 3.7%〕
(参考) 2025年度 IPIA全体 ワライン化	<b>7.3%</b> <b>(6.6億kWh)</b> 〔太陽光: 7.7%〕 〔風 力: 3.2%〕	<b>3.2%</b> <b>(0.0億kWh)</b> 〔太陽光: -〕 〔風 力: 3.2%〕	<b>7.6%</b> <b>(3.7億kWh)</b> 〔太陽光: 7.7%〕 〔風 力: 3.2%〕	<b>7.4%</b> <b>(10.4億kWh)</b> 〔太陽光: 7.7%〕 〔風 力: 3.2%〕	<b>6.1%</b> <b>(10.4億kWh)</b> 〔太陽光: 6.2%〕 〔風 力: 3.2%〕	

※1 各区分の出力制御量/各区分の総発電量(出力制御量含み)にて算出。全設備は10kW未満の出力制御対象外設備を含む総発電量(出力制御量含み)に対する出力制御量の割合を示す。

※2 オンライン代理制御分の出力制御率(制御電力量)は、オフライン相当(8~9時間)の制御時間に換算した値で算出。

※3 実際の制御時間で評価した値。

- 第1回次世代電力系統WG（2025.1.23）において2025年度の再エネ（太陽光・風力）出力制御率の見通しを6.1%と報告。
- 今回、2025年4～7月の実績を踏まえた見通しを再算定した結果、4月の晴天日増加による太陽光出力の増加があったものの、6月の需要増加や、新設電源の試運転を含む最新の電源稼働状況を踏まえた結果、**当初計画に比べ▲0.2%となる見通し(今回見通し5.9%)**

### 〈影響分析〉

項目		当初計画差の分析（4～6月実績）
需要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～5月の需要はほぼ計画通り</li> <li>・6月は計画に比べて需要が増加（計画+6%）</li> </ul>
供給力	太陽光 風力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・晴天日(日射量)の影響などによる太陽光供給力の増減（4月：+3日、5月：▲2日、6月：▲1日）</li> </ul>
	揚水、水力 原子力、火力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～6月の供給力はほぼ計画通り</li> </ul>
連系線活用 （域外送電）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～6月における連系線使用率 （計画：80% ⇒ 実績：95% ※実績範囲：最低49%～最大100%）</li> </ul>

※連系線使用率=潮流実績/（運用容量-マージン）。出力制御実施日のみ。

## [九州エリアにおけるオンライン化の状況]

[万kW]

		2025年3月末	(参考)2024年9月末
太陽光	①オンライン比率 ( (②+④) / (②+③+④) )	90.5%	89.7%
	②新ルール・無制限無補償ルール、オンライン事業者	370.6	349.1
	③旧ルール、オフライン事業者	74.5	78.8
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	341.6	337.8
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 (④ / (③+④) )	82.1%	81.1%
風力	⑥オンライン比率 ( (⑦+⑨) / (⑦+⑧+⑨) )	44.4%	42.5%
	⑦新ルール・無制限無補償ルール、オンライン事業者	15.2	12.8
	⑧旧ルール、オフライン事業者	35.0	36.4
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	12.8	14.1
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 (⑨ / (⑧+⑨) )	26.8%	27.9%

※当面の出力制御対象事業者のうち、「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者、新ルール・無制限無補償ルール事業者 (太陽光10kW以上) 」について算定。

■ 太陽光・風力の接続量は、2024年度末時点で、**2023年度末から+34万kW増加**。

